

2015年1月21日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

日興アセットマネジメント、チーフ・ストラテジストとして神山直樹を採用

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は本日、チーフ・ストラテジストとして神山直樹を採用しましたので、お知らせいたします。

神山は、幅広い資産クラスの市場分析・予測を行なうとともに、それに基づく投資情報および運用戦略等を機関投資家ならびに個人投資家のみなさまに発信する役割を担ってまいります。日興アセットのチーフ・グローバル・ストラテジスト兼グローバル投資委員会(GIC)議長であるジョン・ヴェイルをはじめとする各国のストラテジストやアナリストとも密に連携し、グローバル経済および各資産に関するハウスビューを決定するGICの委員にも就任する予定です。

神山は、1985年、SMBC日興証券株式会社*に入社後、日興ヨーロッパ、日興国際投資顧問株式会社を経て、1999年に日興アセットの運用技術開発部長および投資戦略部長に就任しました。その後、ゴールドマン・サックス証券株式会社*やモルガン・スタンレー証券株式会社*、ドイツ証券株式会社、メリルリンチ日本証券株式会社において、チーフ・ストラテジストなどとして主に日本株式の調査分析業務に従事しました。

これまで神山は、インスティテューショナル・インベスター誌「オール・ジャパン・リサーチ・チーム」のエクイティ・ストラテジー部門で2007年および2008年に第4位に、日経ヴェリタス**のアナリストランキングではクオンツ・アナリスト部門およびストラテジスト部門において2001年以降連続して上位にランクされるなど、内外の機関投資家から高い評価を得ています。シティ大学(ロンドン)経営大学院で博士号(ファイナンス)、ニューヨーク大学経営大学院(スターン・スクール)でMBAを取得し、CFA協会証券アナリストとして認定を受けています。

日興アセットの取締役副会長である安倍秀雄は、「このたび神山を迎え入れ、日興アセットの調査・運用力にこれまで以上に深い洞察力と専門性を加えることができ、大変嬉しく思います。神山の極めて豊富な経験は、とりわけ現下の激動の投資環境においてお客様のニーズに的確にお応えしていくうえで大いなる武器になると確信しています」と述べています。

* 当資料作成日現在の社名を記載。

** 2006年以前は日経金融新聞。

以上

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメント株式会社(以下、日興アセット)は、1959年の設立以来、さまざまな地域や資産クラスを対象とするアクティブ運用、パッシブ運用、オルタナティブ運用など幅広い資産運用サービスを提供しています。長年にわたり培ったグローバルな専門性や優れた運用能力が、リップパー、モーニングスター、マーサー、R&I、アジアインベスターなどの外部評価機関から高い評価を受けています。

日興アセットは経営の独立性を担保することでお客様の利益を最優先とする経営基盤を確立しています。この理念を背景に、三井住友信託銀行株式会社が当社株式の過半を、シンガポールのDBS銀行が一部を保有しています。

日興アセットグループ*は、世界12カ国26拠点に1,300余名の従業員を擁し、280名超の運用プロフェッショナルが17兆円**を超える資産を運用しています。銀行、証券会社、ファイナンシャルアドバイザーおよび生命保険会社などが構成する合計300社超のアジア有数の販売ネットワークを通じ、内外の機関投資家や個人投資家のお客様にサービスを提供しています。

(上記データはすべて2014年9月末現在)

*日興アセットマネジメント株式会社、海外子会社および海外関連会社の総称

**日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2014年9月末現在のデータ

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会